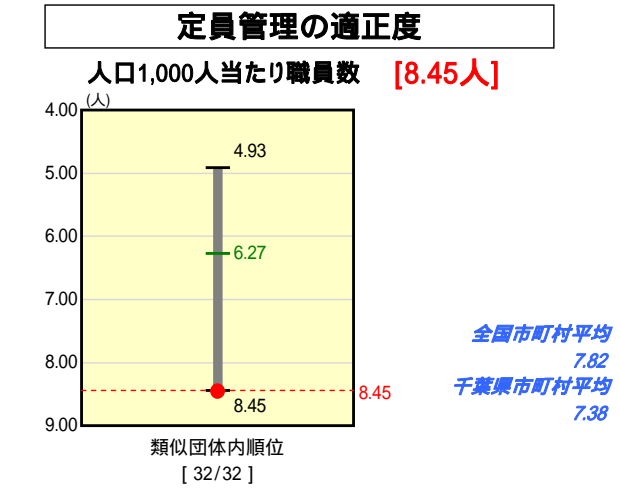
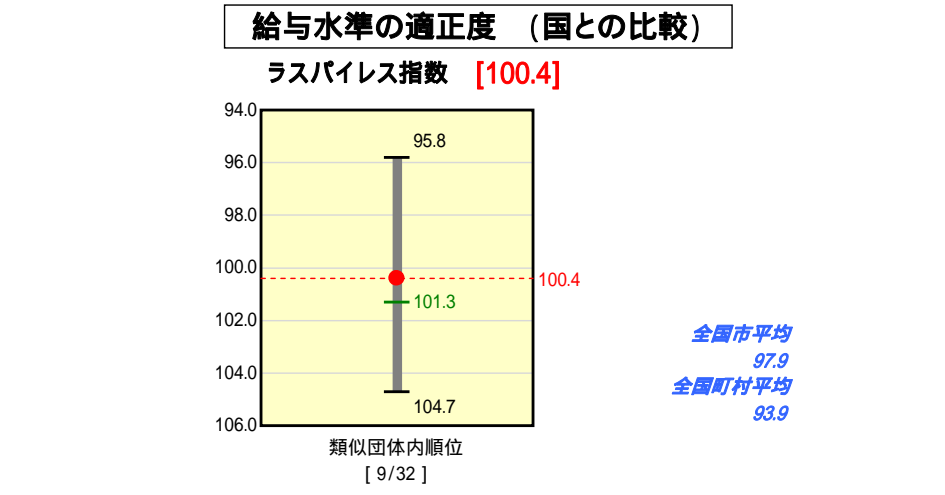
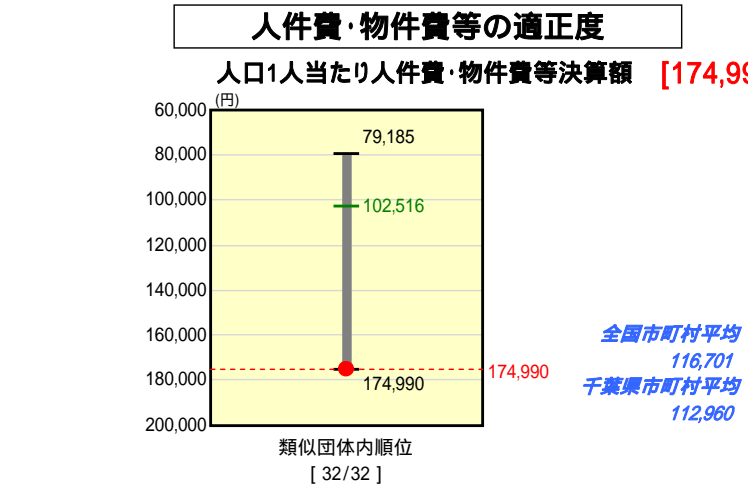
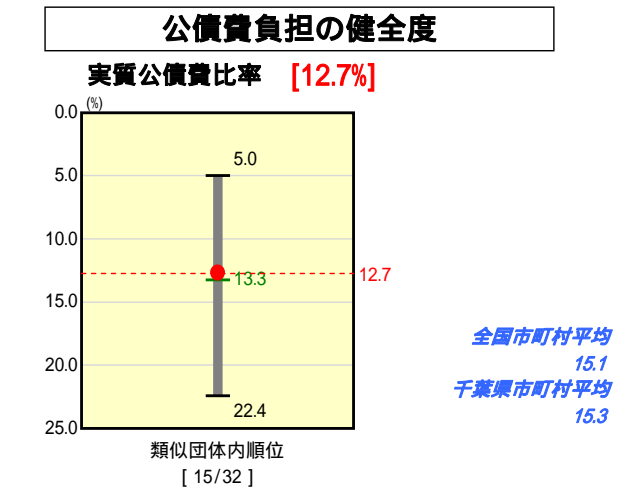
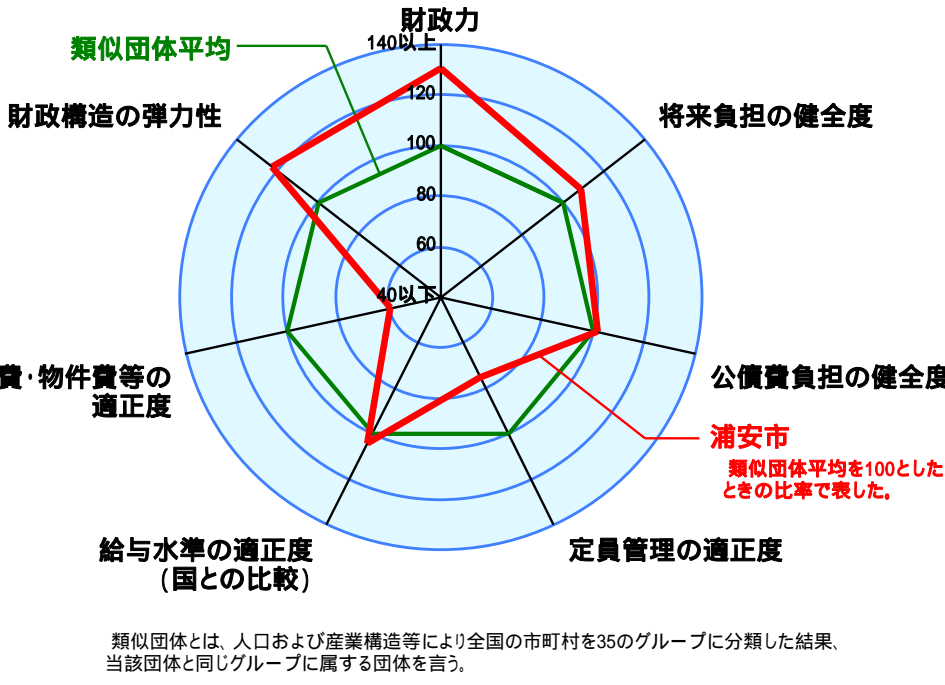
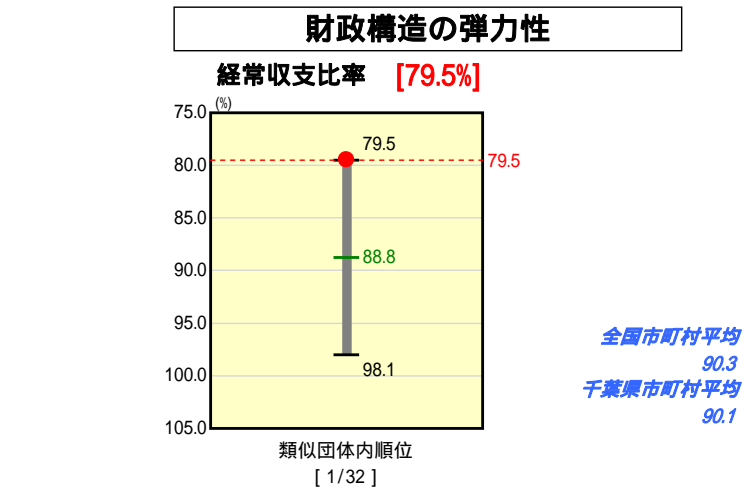
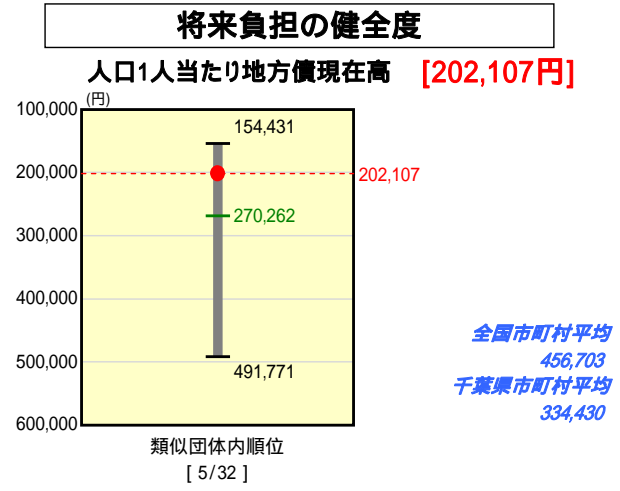
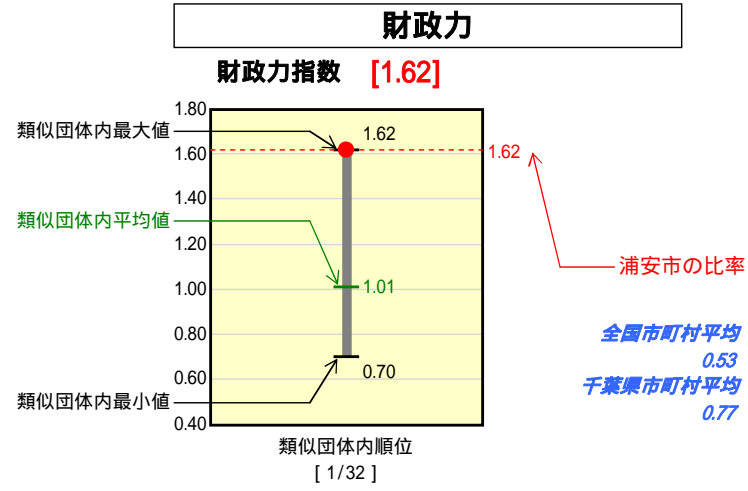


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 千葉県 浦安市

人口	154,585人	(H19.3.31現在)
面積	17.29	km <sup>2</sup>
歳入総額	54,227,691	千円
歳出総額	52,067,590	千円
実質収支	1,531,607	千円



**分析欄**

**財政力指数** :18年度は、1.62(3カ年度平均)となり、前年度と比較すると0.03の減となりましたが、類似団体の平均を大きく上回っています。減の要因は、固定資産税の収入が著しかった平成15年度の数値が対象外となったため、単年度を比較すると前年度より増となっています。今後については、個人市民税の増加や交付税改革などを考察すると同程度もしくは増加傾向で推移していくものと考えられます。

**経常収支比率** :前年度と比べると、1ポイントの増の79.5%となりましたが、前年度と同様に類似団体の平均を大幅に下回り、財政構造の弾力性を確保しています。今後の見通しについては、市税などの経常一般財源が若干伸びるものの、既存施設の維持管理費や新たな施設の竣工に伴う所要経費等の伸びが見込まれますことから、ほぼ同程度で推移していくものと考えられます。

**ラスパイレス指数** :前年度と比較すると、0.5ポイントの減となっています。従来、過去における人口急増に伴う行政需要の増大による組織拡大の結果、現在高年齢層の職員が早期に昇格し、ラスパイレス指数を引き上げる要因となっていたところですが、これらの職員の退職により、ラスパイレス指数は下がる傾向にあります。

**実質公債費比率** :18年度は、12.7%(3カ年度平均)、単年度の比率につきましては、16年度18.3%、17年度10.6%、18年度9.4%と推移しているものです。平成16年度については、減税補てん償の一括償還によるものです。今後の見通しとしては、16年度が対象外となることから、19年度は10%程度、その後についても、ごみ処理施設など、過去に借り入れた起債の償還が終了に伴い公債費が減少していくことから、緩やかに下降していくものと考えられます。

**人口1人当たりの地方債現在高** :18年度については、前年度に比べ17,320円減少しました。これは、償還により地方債残高が減少したこと及び人口が対前年比で1.5%程度伸びていることが要因となっているものです。今後についても地方債現在高の減少と人口増が見込まれることから、減少していくものと考えられます。

**人口1,000人当たり職員数** :前年度よりも減少しているものですが、類似団体の平均を大きく上回っています。これは、人口急増に伴う多様な行政需要に対応し、様々な分野で質の高い行政サービスを提供するため職員の採用を行ってきたことや公立幼稚園の運営などによるものです。今後も人口の伸びや行政需要の増加が考えられるところですが、組織の効率化や指定管理制度などの事業手法の活用により職員数の抑制を図ります。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額** :人件費についてはほぼ前年度並みですが、多様な行政需要に対応し、様々な分野で質の高い行政サービスを提供するため、新たな施設の開設や事業の拡充などに伴い、賃金、委託料などの物件費が類似団体の平均を上回っています。今後についても、人口の伸びなどを考察すると増加傾向で推移していくものと考えられますが、事業及び事業手法の見直しなどにより、経費の抑制を図ります。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。